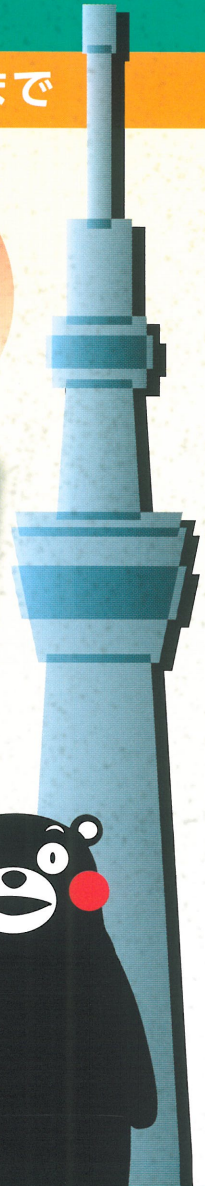
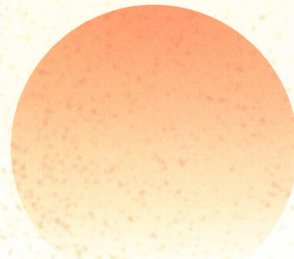




Let's Introduce Japanese Culture!

日本文化を世界に!

日本の伝統文化からポップカルチャーまで



by

Kinuyo Koikawa Kentaro Yamada

David Farnel Motoko yakushiji

EIHŌSHA

©2010 kumamoto pref. kumamon#11686

Let's Introduce Japanese Culture!

日本文化を世界に！

日本の伝統文化から
ポップカルチャーまで

by

Kinuyo Koikawa / Kentaro Yamada

David Farnel / Motoko Yakushiji

EIHŌSHA

はじめに

近年、ヨーロッパ・アメリカのみならず中東でも日本文化への興味が飛躍的に拡がり、外国メディアへの露出も増えてきています。日本文化が世界で認識され始めたのは17世紀後半だといわれています。そして19世紀終わりには、ヨーロッパでジャポニズムという日本美術愛好運動が起こりました。21世紀に入り、日本政府もまた、「観光立国日本」を目指すことを打ち出し、2008年の「ビジット・ジャパン・キャンペーン」以降、様々なプログラムが考案され実施されています。2013年5月には、更に観光をより進めていこうとの施策が打ち出されました。この一連の施策は、日本を知ってもらうことによって友好の輪を広げていこうという安全保障の側面を持つと言われています。また、日本文化を、成長戦略の一つとして、日本経済の大きなけん引要素として位置づけています。更に「ジャパンブランド」を強化していくことが、再確認されました。

そこで、本テキストの狙いは、実質的な国際共通語である英語を通して、海外の人々に伝統的な日本文化のみならず現代の日本を紹介し、理解してもらうだけの知識と表現力を皆さんに持ってもらうことにあります。それにより、観光ビジネスで仕事をしようと思っている人や観光通訳を目指している人は、将来の仕事とリンクした情報を得ることができます。更に、世界を舞台に仕事をしようと思っている人にとっても、自国の豊かな文化を学ぶことは、円滑なビジネス交渉や信頼獲得の大きな力となります。あるいは、他国にホームステイを予定している学生にとっても、日本文化を紹介できると、よりよいコミュニケーションが取れるなど、その例は枚挙にいとまがありません。また、ボランティアで、あるいは一般市民として、来日している外国人に日本文化を紹介することで、民間大使としての役割を十分に果たすことができます。

そのような状況を踏まえ、本テキストは4つの特徴を備えています。1つは、伝統文化からポップ・カルチャーまで、日本の魅力を世界中の人たちに紹介する際に必要となる文化の基礎知識を、エッセイ、ダイアログ、ヴォキャブラリー・レビュー、及びtips(耳寄り情報)に網羅しています。2つ目の特徴は、本テキストが読解用としても活用していただくことができるような構成になっていることです。速読に対応する問題として、Exercise(エクササイズ)を各unitごとに用意しています。そこでは、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)を駆使できるような問題設定をしています。3つ目の特徴として、ダイアログで、自然な会話を聞くことにより、リスニングの強化を図っています。最後に、ヴォ

キャブラリー・レビューで、語彙の増強を特徴としています。

本テキストを通し、皆さんが英語の読解の基礎のみならず、日本文化の素晴らしさを世界の人々に伝えることができるようになっていただければ、この上もない喜びです。

最後に、本テキストの編集に当たり、様々な書籍及びウェブ情報を参考にさせていただきました。ここに深く謝辞を申し述べたいと思います。また、また本テキストの出版にあたり、企画段階から色々とアドバイスいただき、暖かく見守っていただきました英宝社の方々に深くお礼を述べたいと思います。更に、このテキストへの写真掲載を快諾していただいた皆さま、イラストを描いていただいた皆さまにお礼を申し述べたいと思います。

2013年6月

執筆者一同

本テキストの使い方

1. エッセイ

日本の文化をエッセイ形式で説明しています。このエッセイを通して、日本文化に対する理解を深めることを狙いとしています。更に、精読・速読に対応するように構成されています。

まずは、各 unit とも skimming をして、大まかな内容を把握します。その後、もう一度読みながら、わからない単語や語句に印をつけていきます。次にテキストに記載されている [語句] を参照し、それでもわからない単語・語句を調べ、単語帳などに記載して、語彙の増強を図るとともに、内容を理解します。速読に対応する問題として、Exercise (エクササイズ) を各 unit ごとに用意しています。

2. Exercises

このセクションでは、様々なタイプのエクササイズを用意しています。まず英文読解、英文の構造を把握したり、メイン・アイデアを把握するために知っておくべきスキルである skimming/scanning や true/false questions などをランダムに配しています。次に、dialog でリスニングの練習、更に、vocabulary review で語彙力をつけ、最後に let's try で、自分なりの説明文を作成する構成となっています。下記はそれぞれについての簡単な説明です。

2. A. 1. Let's skim! (skimming をしよう!)

エッセイの構文を把握したり、大事な情報を大まかに得るために行います。

基本的にエッセイは導入段落 (introductory paragraph) が最初にあります。その後、本文の段落 (通常 body という言い方をします) が数段落あります。そして、結びの段落 (concluding paragraph) で終わります。

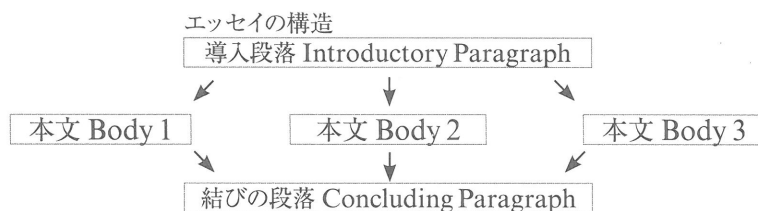
Introductory paragraph の最後には、エッセイ全体の主題文 (thesis statement) がきます。

各 body にはトピック・センテンス (topic sentence) と呼ばれる該当段落の要旨を述べた文が通常含まれます。トピック・センテンスは、基本的に該当パラグラフの第1センテンスにきます。場合によっては、第2、3センテンスにくることもあります。あるいは、最後のセンテンスにくることもあります。Body の数は様々です。

結びの段落 (Concluding paragraph) では、通常エッセイの主題文の言い換え (restatement of the thesis statement)、あるいは/及び、要約 (summary) です。簡単なコメント (final comments) を付加することもあります。

また、after, however, but, first, also などの transitions に注目すると、その段落内の流れがより明確につかめます。

この文の構成を理解していれば、速読も可能となります。Skimming とは、このように、ざっと目を通して大事な情報を取ることを意味します。



問題としては unit 1 のみに設定していますが、どの unit においても、大まかな内容を掴むには、skimming は有効な方法です。

2. A. 2. Let's scan! (scanning をしよう!)

スキニングとは、探したい情報をキー・ワードを中心に探します。

まず、質問を読みます。その質問に出てくるキーワードに見当をつけ、再度本文のキーワードが書いてある箇所を中心に答を見つけます。このスキルを身につけることで、短時間に必要な情報を得ることができます。ひいては、社会に出てからの大量な資料の処理能力もつきます。

2. A. 3. Multiple-choice questions

TOEIC の読解問題のように、1つの質問に対して、4つの用意された解答群から、正しいものを選ぶ形式の問題です。スキニングやスキニングを駆使することによって、迅速に問題を解くことができます。

2. A. 4. True/false questions

問題の文章の内容とエッセイの文章の内容が合致しているかどうかを判断することで、内容の理解度をより深めることができます。スキニングやスキニングを駆使することによって、迅速に問題を解くことができます。

2. B. Dialog

ダイアログでは、エッセイに関連した会話を聞き取ることによって、エッセイの内容の理解をより深めること、およびリスニング力の向上を目指しています。さらに、ブランクに、キーワードを聞き取って書き込むことにより、エッセイの単語の復習を狙っています。

2. C. Vocabulary Review

エッセイで使用された語・語句を使用した5つの文章を用意しています。内容は日本文化に関するものから一般的なもので、日常使える用語を練習できるように工夫しています。これにより、語彙増強を図ることができます。

2. D. Let's Try!

それぞれの unit に関連した日本文化の紹介をしてみましょう。関連語句を付加しています。日本文化関連の語彙補強にも寄与できるようにしています。

3. Tips

テーマに関連した、少し詳しい説明や豆知識を載せています。

Index

本テキストを日本文化の手引書として利用できるように、索引をつけています。

Table of Contents

はじめに

本テキストの使い方

Unit 1	The Spirit of Japanese Hospitality
	おもてなしの心
Unit 2	Superb! TOKYO SKYTREE
	東京スカイツリーの秘密
Unit 3	Japanese Seasonable Charms: The Bewitching Beauty of Kimono
	日本の風物詩: 着物の魅力
Unit 4	Japanese High Quality Technology
	高品質の日本テクノロジー
Unit 5	Healthy and Colorful Japanese Cuisine
	健康にいい、色彩鮮やかな日本食
Unit 6	Destruction and Creation: Japanese Stage Art
	破壊と創造: 日本舞台芸術
Unit 7	Hospitality and Peace in Japanese Robots
	平和とおもてなしの日本ロボット
Unit 8	Samurai Spirit
	サムライ

Unit 9	Anime: A Japanese Soft Power
	日本のソフトパワーとなったアニメ
Unit 10	Hot Springs: Let's become healthy and beautiful!
	温泉で美人に!
Unit 11	Video Games for Everyone
	みんなで楽しむゲームを
Unit 15	Tranquility and Dynamism in Competitive Calligraphy
	静謐と躍動：書道甲子園
Unit 13	<i>Kawaii</i> Going Global
	世界に広がるカワイイ
Unit 14	Japanese Ceramics in Europe: originality in traditional beauty
	陶芸：伝統美の中の斬新さ
Unit 15	Shinto's Encounter with Buddhism in Nara
	神様と仏様の出会い

Unit 1

The Spirit of Japanese Hospitality

おもてなしの心

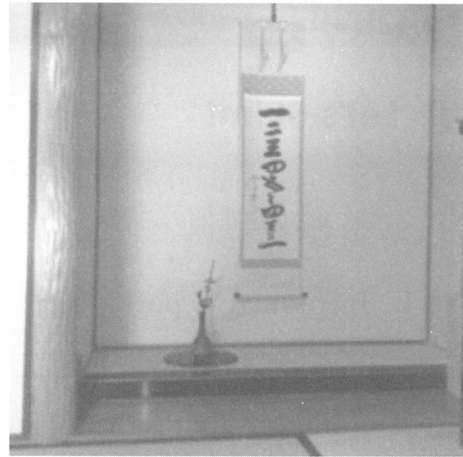
Most travelers to Japan have enjoyed many things about it, such as its history and beautiful seasons: cherry blossoms in early spring, red and yellow leaves in autumn. However, what has strongly impressed many of them and made their stay memorable is the hospitality they have received from the Japanese people. When an Egyptian researcher visited Higashi Ward Office in Fukuoka City, he felt grateful for the warm-hearted treatment he received. He said, “I’ve never been treated in this way in other countries.” The spirit of Japanese hospitality that moved him has long been an important part of Japanese culture.



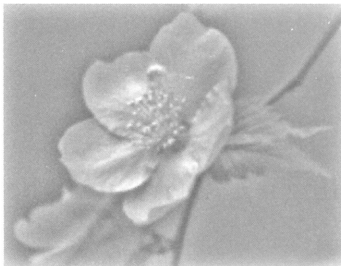
Japanese hospitality, or *omotenashi*, can be traced back to the spirit of the tea ceremony. A host always takes great care in creating the tranquil atmosphere of the room and making guests feel comfortable. He or she, for example, cleans the room and the garden, and chooses flowers, a hanging scroll, tea bowls and other utensils appropriate to the season in advance. In April, for instance, *kerria* or *yamabuki* is often chosen as a seasonal flower. Every preparation is for the guests. Furthermore, a traditional tea room is a four-and-a-half tatami-mat room with a small, low entrance, which represents a small universe where everyone is treated equally. Every guest has to bow to enter the room, and even samurai warriors had to enter without wearing any swords. All participants in a tea ceremony should feel comfortable, forgetting their social positions. Hospitality – giving

them adequate consideration – is the first priority to the host.

The spirit of traditional Japanese hospitality is still alive in our modern society. At a traditional Japanese inn, for example, travelers are warmly welcomed by the staff's politeness, sincere smile and careful attention. A hanging scroll and flowers appropriate to the season, along with green tea and sweets, are also waiting for them in their room. This kind of cordial hospitality makes them feel comfortable and their stay unforgettable. A marketing manager of a Japanese hotel chain says *omotenashi* means that “the host anticipates the needs of the guest in advance and offers a pleasant service that guests don't expect.”



Many other Japanese businesses also declare that they put an emphasis on the spirit of Japanese hospitality, believing that their customers' satisfaction results from the quality of hospitality. Among them is UNIQLO, whose chairman and president, Tadashi Yanai, says in an interview on a TV program, “It is not so much for its products as for good service that UNIQLO is highly regarded.” Their staff is required to hand purchases to customers with both hands, in the spirit of handing over their whole heart as well as their products.



The spirit of Japanese hospitality, or the spirit of consideration toward others, has been exemplified in the Japanese tea ceremony since the 16th century. And even now it is continuously being upheld to offer guests comfort and to satisfy customers.

語句

hospitality 「もてなし」 **memorable** 「忘れられない、素晴らしい」 **feel grateful for ~** 「~に対して感謝する」 **tranquil atmosphere** 「静かなたたずまい」 **hanging scroll** 「(床の間にかける) 掛け軸」 **utensil** 「道具」 **in advance** 「前もって」 **represent** 「表わす」 **adequate** 「十分な」 **first priority** 「最優先事項」 **cordial** 「心のこもった」 **not so much ~ as ...** 「~というよりむしろ…」 **UNIQLO** 「ユニクロ」 **Yanai Tadashi** 「柳井正」 **be highly regarded** 「高く評価されている」 **be require to** 「~することを求められる」 **exemplify** 「体現する、典型的に示す」 **uphold** 「守る」

EXERCISES

A Let's Skim!

スキミング (skimming) をしてこのエッセイの構造をみよう! 「本テキストの使い方」のスキミングの説明を参照のこと)

1. **Introductory paragraph** : Find the thesis statement.

2. **Body 1** : What is the topic sentence of this paragraph?

3. **Body 2** : What is the topic sentence of this paragraph?

4. **Body 3** : What is the topic sentence of this paragraph?

5. **Concluding paragraph** : Is this paragraph a restatement of the thesis statement or a summary, or both?

B Dialog

Listen to the CD and complete the dialog.

Miki: Hi Sam – I just wanted to make sure everything is OK. You must be tired!

Sam: Thanks, Miki – I really _____ it. So...I'm going to share my room with two other students?

Miki: Yes. At a *ryokan* – a Japanese _____ we usually don't get our own rooms.

Sam: Well, it's a really nice room. Um...where are the beds?

Miki: Oh, you'll be sleeping on futon – they're in the closet here, see?

Sam: Oh, of course. So what time should we take them out?

Miki: The _____ will take care of that while we're having dinner.

Sam: They take care of us very well, don't they?

Miki: _____ the needs of guests and _____ is important in a business like this.

C Vocabulary Review

Complete each sentence using the words in the essay.

1. 日本のおもてなしの心は、一期一会という茶道の古い言葉に基づいています。

The _____ is based on an old saying from the tea ceremony, *ichigo ichie*, or once-in-a-lifetime encounter.

2. 日本の旅館の女将は、非常に気を配って客にふさわしいものを選びます。

A landlady of a Japanese inn _____ choosing what is right for her guest.

3. 掛け軸は、中国の絵画や書道を愛でるために、床の間に、飾られています。

_____ is displayed in an alcove so that guests can enjoy Chinese paintings and calligraphy.

4. 日本の伝統的な宿屋は「旅館」とよばれ、畳の部屋と床の間があります。宿泊料金には、朝食と夕食が普通含まれています。

A traditional Japanese inn, called a *ryokan*, has _____ and _____. Breakfast and supper are usually included in the charges.

5. お年玉は、正月に両親や親せきから、子供たちがもらう小遣いです。子供たちは両手でそれを受け取ります。

Otoshidama is a gift of money traditionally given to young children by parents and relatives during the New Year. They receive it _____.

D Let's Try!

日本に来た外国人を案内する時には、日本についての知識だけでなく、おもてなしの心は欠かせないものです。心を込めて日本文化を発信していきましょう!

おもてなしの心に関連すること(茶道、お茶のたて方、ディズニーランド、旅先での出来事、日常生活で見かけられるおもてなし)やその他の日本人の特徴と言われる「本音と建て前」や「義理と人情」などについて、説明してみましょう。

◆表現のヒント◆

茶の湯 tea ceremony 抹茶 powdered green tea 注ぐ pour かき混ぜる stir 茶筌 bamboo tea whisk 泡状の frothy [食べ物・飲み物を] 出す serve 生け花 Japanese flower arrangement 盆栽 miniature potted tree 本音 true feelings 建て前 the polite behavior that you present in public 義理 social obligations 人情 human feelings 人の和 harmony among people 暗黙の了解 tacit approval

■ Tips ■

(A) UNIQLO ユニクロ: Company Names

Companies name themselves in many inventive ways these days, often combining words and using unusual spelling and capitalization. For example, the name UNIQLO is written in all capital letters (which we sometimes call “all-caps”). There is no particular reason for this, other than they thought it would be more noticeable and memorable. Most company names are *not* written in all-caps.

UNIQLO's name is also an interesting combination of words. In it, we can see “unique” and “clothes.” But we can also see it as a combination of “unique” and “low,” as in low prices. It depends on where you break the name apart. This cleverness in naming makes the name more memorable and impressive, which is important in advertising.

(B) 東京ディズニーランドのリピーター率の高さもスタッフのおもてなしの心によるものだとされている。ダンサーから清掃員まで、各々がディズニーランドという舞台で与えられた「役」を精いっぱい演じて来園者に気持ち良く過ごしていただきたいという熱い思いがこの現象を生んでいると言われています。

Unit 2

Superb! TOKYO SKYTREE

東京スカイツリーの秘密

Tokyo Skytree, the free-standing broadcast tower, has been very crowded since it opened on May 22, 2012. The view from the observation decks is amazing. The tower plays a role not only as a broadcasting tower, but also as a symbol to connect the past and future, seen in the design concept, explained by Tobu Groups as “A fusion of traditional beauty and neo-futuristic design.” The tower embodies the unity of traditional Japanese aesthetics and techniques with the use of advanced technology.



Japan is subject to earthquakes. Each time an earthquake happens, many buildings collapse. However, five-story pagodas, traditional Japanese towers, have never fallen down so far in spite of frequent earthquakes. Therefore, Tokyo Skytree is designed using the engineering techniques of Japan's five-story pagodas. Its secret is a *shimbashira*, a pillar, which is separate from the outer framework, and acts as a counterweight to control vibration. The *shimbashira* of Tokyo Skytree is a 375m-tall reinforced concrete cylindrical tube. In fact, the tower survived the enormous earthquake on March 11, 2011, which proved the *shimbashira* construction technology assures safety against such a disaster.

Another secret lies in the outer design of Tokyo Skytree, which appears different depending on the location of viewers; sometimes it looks crooked to the right or to the left, offering a variety of unique appearances. This is because the base of the tower is triangular to create harmony with its surrounding scenery,

and the tower gradually becomes circular. To make the structure possible, the architects used *mukuri* (arch rise) and *sori* (warpage) techniques adopted from traditional Japanese architecture and even from the art of making *nihon-to*, the Japanese sword, both of which create Japan's unique tower.

The color of the tower, called Skytree White, is also superb. It is based on indigo white. The technique of indigo dyes is replicated by adding a slight blue tint to the white, giving the tower a sophisticated pale-blue glow, which makes it look like white porcelain.

Tokyo Skytree attracts people with its secrets. It keeps them safe with its modern, scientific use of traditional Japanese construction technology, and fascinates them with its adoption of traditional design and color. Tokyo Skytree indicates a wonderful connection between the past and the present, perhaps opening a door to the future.



語句

free-standing broadcast tower 「自立式電波塔」 **fusion** 「融合」 **embody** 「具象化する」 **aesthetics** 「美学」 **advanced technology** 「先端技術」 **be subject to** 「～にさらされる」 **five-story pagoda** 「五重塔」 **outer framework** 「外側の枠組み」 **counterweight** 「釣合い重り」 **assure** 「保証する」 **crook** 「曲げる」 **lie in** ～ 「(手掛かり・問題などが) ～にある」 **mukuri** 「むくり、丸みを帯びた曲線、凸型」 **arch rise** 「むくり、上方にそること」 **sori** 「反り、凹型、日本建築の屋根等にも見られる、線や面がなだらかに反ったライン」 **warpage** 「反り」 **indigo white** 「藍白(わずかに青い白)」 **indigo dyeing** 「藍染」 **replicate** 「再現する」 **tint** 「色合い、淡い色」 **sophisticated pale-blue glow** 「粋な淡青の柔らかな光」 **white porcelain** 「白磁」 **fascinate** 「魅了する」

EXERCISES

A Let's Scan!

1. What does Tokyo Skytree symbolize?

2. What is one of the ways that Tokyo Skytree has been made earthquake-proof?

3. Why does Tokyo Skytree look different when viewers see it from different locations?

4. What techniques did the architects of Tokyo Skytree adopt from traditional Japanese architecture and the art of making *nihon-to*?

5. What is used to replicate the technique of indigo dyeing?

B Dialog

Listening to the CD and complete the dialog.

Sara: Wow! Look at this view!

Ryuu: The view from the _____ deck is really quite amazing, isn't it?

Sara: I guess we can see all of Tokyo from up here, can't we?

Ryuu: I think so.

Sara: Well, thank you for bringing me up here. I knew the Skytree was a superb work of _____, but I'm glad to see it for myself.

Ryuu: Did you know that some of its most _____ features are based on _____ Japanese architecture?

Sara: Do you mean the central pillar? Isn't it based on the design of _____?

Ryuu: Yes, that's right! You really have done your homework, haven't you?

Sara: Well, architecture is an interest of mine, to tell the truth.

C Vocabulary Review

Complete each sentence by using the words in the essay.

1. 故18代目勘三郎は、歌舞伎界で中心的な役割を果たしました。

The late 18th Kanzaburo _____ central _____ in the world of kabuki.

2. その新建材は温度の変化を受けやすい。

The new building materials _____ changes in temperature.

3. 多くの他の城が破壊されたり、全焼してしまったが、兵庫県の姫路城は、何年にも渡って切り抜けてきました。

Himeji Castle in Hyogo Prefecture has _____ while many other castles were destroyed or burned down over the years.

4. クロード・モネによって描かれた水連は、その洗練された色調で人々を魅了します。その色調は、日本の浮世絵に影響されました。

The series *Water Lilies*, painted by Claude Monet, _____ with its sophisticated hues, which were influenced by Japanese *ukiyo-e*.